学校番号	T3017

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭総合	単位数	４単位	年次	３・４年次
使用教科書	家庭総合「自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の生活を一度見つめなおし、よりよい生活を目指していきましょう！
授業はノートを使って学習しますので準備しておいてください。
板書だけでなく、授業担当者の発言もメモを取るようにしてください
テストは毎回行います。調理実習や作品発表も行います。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭，子供や高齢者とのかかわりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭，子供や高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などについて関心をもち，その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭，子供や高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭，子供や高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭,子供や高齢者との関わりと福祉,消費生活,衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	出席状況 ノート・プリント等	実習レポート ＤＶＤ鑑賞	調理実習 作品作成	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3年生 4～5月	**第1章　自分らしい人生をつくる**	1生涯発達の視点 2青年期の課題 3人生をつくる 4家族・家庭を見つめる 5これからの家庭生活と社会	○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○	a：生涯発達の考え方に立ち，各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、課題について具体的に考えようとしている。 b：家庭生活を支える法律や社会制度，ボランティアの在り方を考え，まとめている。 c：家族や家庭生活の在り方などについて検討するために，調査したりすることができる。 d：青年期の課題や現代家族の特徴，家庭機能の変化，家庭生活と社会との関わりについて理解している。	出席状況 ノート DVD鑑賞 レポート 調べ学習 レポート 定期考査

6月～10月	**第6章　食生活をつくる**	1 食生活の課題について考える	○	○		○	a：・自分や家族の食生活，地域の食文化に関心を持ち，食生活と健康の関わりを考え，意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。 ・調理実習や実験などに，科学的な視点から，積極的に取り組もうとしている。 ・食品表示に関心を持ち，食生活の安全と環境について考えようとしている。	出席状況 ノート
		2 食事と栄養・食品				○		
		3 食生活の安全と衛生			○	○		
		4 生涯の健康を見通した食事計画	○		○			
		5 調理の基礎	○		○	○		
		6 食生活の文化と知恵		○		○		
		7 これからの食生活		○		○	b：・現代の食生活の課題や食事の意義について思考を深めている。 ・栄養と健康な食生活の関わりについて考えている。 ・食品をめぐる近年の事例から，食生活の安全性や環境について思考を深めている。 ・食品の購入から廃棄，環境との関わりなど，持続可能な食生活について考え，工夫している。 c：・主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し，検討することができる。 ・食生活をよりよくするための調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d：・栄養，食品，調理及び食品衛生など，食事と健康との関わりについて，科学的に理解している。 ・調理実習を通して，食生活の自立に必要な知識を身につけている。 ・現代の食生活の課題，食文化，食品の安全性と環境についての課題を認識し，その知識を身につけている。	DVD鑑賞 レポート 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査

11月～2月	**第2章　子どもと共に育つ**	1命を育む 2子どもの育つ力を知る 3親として共に育つ 4これからの保育環境	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a：母体の健康と子どもの誕生，子どもの心身の発達について関心を持ち，家族の果たす役割を考えようとしている。 ・子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち，課題解決に向けて考えようとしている。 b：児童虐待や育児不安の事例研究を通して，原因および解決について考えを深めようとしている。 ・子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生み育てることの意義，社会・地域・親の果たす役割について考え，課題を見い出し，まとめたり，発表したりしている。 c：・子どもの生活や子どもを取り巻く環境，子育てにおける課題などについて，情報を収集したり，調査することができる。 d：・生命の尊さ，子育ての意義の重要性について理解している。 ・妊娠や出産に関わる知識を身につけている。 ・子どもの心身の発達や生活と環境との関わりについて，家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 ・社会全体で子育てを支援する必要性を認識し，子どもの権利と福祉について理解している。	出席状況 ノート DVD鑑賞 レポート 調べ学習 レポート 定期考査

4年生 4月 ～ 6月	第5章　経済生活を営む	1職業生活を設計する 2計画的に使う 3国民経済・国際経済と家庭の経済生活 4現代の消費社会 5消費者の権利と責任 6これからの消費生活と環境	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a：生涯を見通した生活における経済計画について関心を持ち，自立した消費者として行動しようとしている。 ・消費生活における課題や消費者の権利と責任について。 b：多発する消費者問題について，その原因と対策について具体的な事例を通して考え，まとめたり，発表したりしている。 ・消費行動と環境との関わりについて，生活の質を向上させるためにはどのような消費生活を築けばよいかを考え，工夫している。 c：身近な生活の中から，環境に関わる生活の仕方を点検し，生活様式の見直しや環境に調和した生活など，自分の消費行動を検証することができる。 d：・家庭経済と国民経済の関わり，家計の管理や経済計画の重要性を理解している。 ・消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。 ・環境問題に配慮したグリーンコンシューマーとなることが求められていることを理解し，家庭生活と資源・環境との関わりについて，自立した消費者になるための知識を身につけている。	出席状況 ノート DVD鑑賞 レポート 調べ学習 レポート 定期考査
	第9章　生活を設計する	生涯を見通す	○	○	○	○	a：生涯を見通した自己の生活設計について関心を持ち，自己のライフスタイルや生活資源の活用の観点から，将来の生活設計や，自分の生活をマネジメントすることについて考えようとしている b：・資源を有効活用した生活設計について考え，工夫している。 c：生活をマネジメントする視点を持ち，生活設計の立案に必要な情報を収集・整理し，検討を行い，具体的な生活設計を立てることができる。 d：・充実した人生を送るために，生涯を見通した生活設計の必要性を理解している。	レポート 調べ学習 発表

7月 ～ 10月	第3章　高齢社会を生きる	1高齢期を理解する 2高齢者の心身の特徴 3高齢者を支える 4これからの高齢社会	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a：高齢社会の現状と課題，高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち，高齢者を肯定的にとらえ，高齢期の生活について考えようとしている。 b：・高齢者や高齢者を取り巻く社会について，具体的に課題を見い出し，その解決を目指して思考を深め，まとめたり，発表したりしている。 c：地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり，調査したりすることができる。 d：高齢社会の現状と課題，高齢者の心身の特徴や生活について理解している。	出席状況 ノート DVD鑑賞 レポート 調べ学習 レポート 定期考査
	第4章　共に生き，共に支える	1私たちの生活と福祉 2社会保障の考え方 3共に生きる 誰もが暮らしやすい社会を目指して	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a：共生社会に関心を持つとともに，社会の一員としての自覚を持ち，ボランティア活動や支え合う活動など，主体的に行動しようとしている b：社会制度の理念と内容やボランティアの在り方について考えを深め，社会の一員として，共生社会を実現するために何ができるか考え，工夫している。 c：共生社会の実現に向けて支え合う活動に必要な技術を身につけている。 d：共生社会の重要性について理解している。 ・社会福祉の基本的な理念や内容について，共生社会を実現するために必要な知識を身につけている。	出席状況 ノート DVD鑑賞 レポート 調べ学習 レポート 定期考査

11月～12月	**第7章　衣生活をつくる**	1被服の役割を考える 2被服を入手する 3被服を管理する 4これからの衣生活	○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:衣生活に関心を持ち，人間と被服，気候と被服の関わりを考えようとしている。 b:被服材料の性能改善と着心地，安全に配慮した被服ついて考えている。 ・衣服の購入から廃棄，管理，環境との関わりなど衣生活について考え，工夫している。 c: 健康と安全に配慮した被服計画を立てることができる。 d: 着装，被服材料，被服構成，被服製作，被服管理などについて科学的に理解している。 ・資源の有効活用の視点から，購入，活用，手入れ，保管，再利用，廃棄を考えた持続可能な衣生活の必要性を理解している。	出席状況 ノート DVD鑑賞 レポート 調べ学習 レポート 定期考査
1～2月	**第8章　住生活をつくる**	1住生活について考える 2住生活の計画と選択 3住生活の文化と知恵 4これからの住生活	○ ○	 ○	 ○	 ○ ○ ○	a: 生涯を見通して，住居の機能や住空間の計画などについて関心を持ち，よりよい住生活について考えようとしている。 b: ライフスタイルや価値観に応じた，生命と健康を守るための暮らしの在り方について考え，工夫している。 c: よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取ることができる。 d: 住居の機能，住空間の計画，住環境など，安全で快適な住まいについて科学的に理解している。	出席状況 ノート DVD鑑賞 レポート 調べ学習 レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。